

令和8年3月17日

保護者様

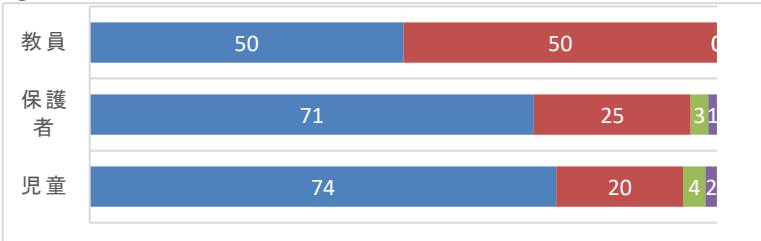
千葉市立有吉小学校
校長 溝越 信夫

令和7年度 学校評価アンケート集計について

12月に実施しました学校評価アンケートの集計結果についてお知らせします。
寄せられたご意見は今後の学校で指導する際の参考にさせていただきます。
グラフの横軸は割合を表し、左にいくほど肯定的な意見になっています。

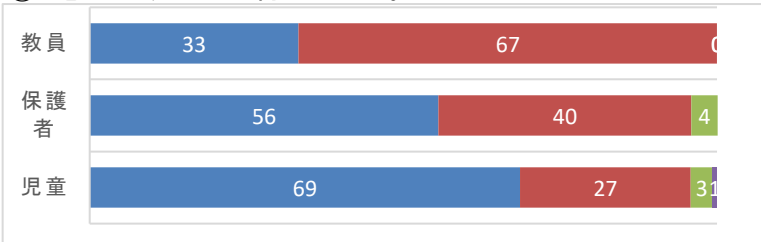
そう思う 少しそう思う あまり思わない そう思わない

① 学校や学級で楽しくすごしている。



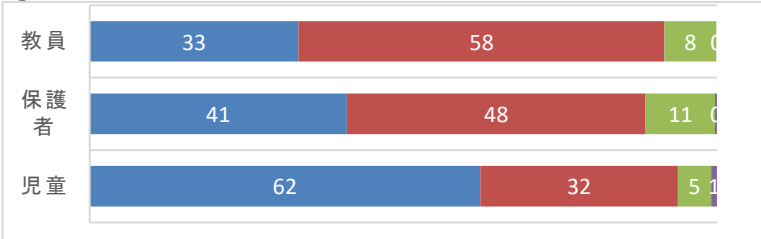
9割以上の児童が肯定的な回答をしています。しかし、約1割弱の児童が否定的な回答をしています。全ての児童がよりよい学校生活を過ごせるよう、教育活動及び教育相談体制の更なる充実に努めていきます。

② 思いやりの心が育っている。



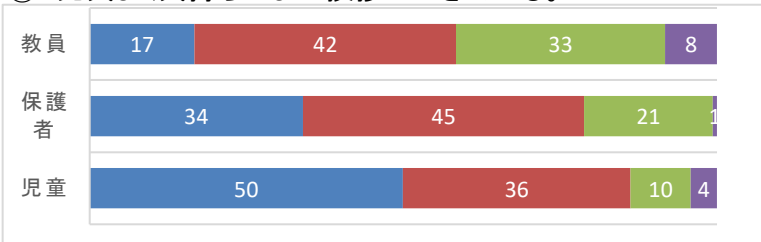
保護者・児童ともほとんどが肯定的な回答がほとんどです。教職員にとっては課題を感じているため、特別活動や道徳教育の充実及び日々の教育活動と学校行事の通して、思いやりの心が更に育つような工夫をしています。

③ 進んで仕事をする気持ちが育っている。



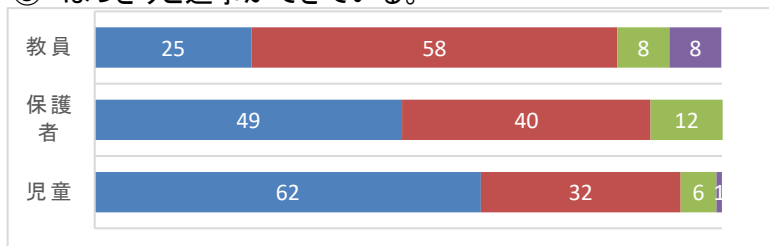
概ね9割の児童が肯定的な回答をしています。係活動や当番活動などの充実を図り、児童の頑張りを認め、励ましの言葉をかけ、自己肯定感を高めていくことが重要と考えています。

④ 元気よく気持ちのよい挨拶ができています。



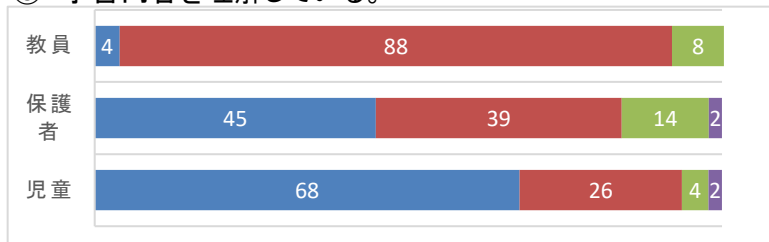
他の項目に比べると肯定的な回答が低いです。日々の学校教育活動や道徳教育の充実させることで、挨拶の大切さ実感できるようにしていきます。また、運営委員会を中心に朝の挨拶運動や挨拶の啓発活動の機会を利用して、挨拶の習慣化を図ります。

⑤ はっきりと返事ができている。



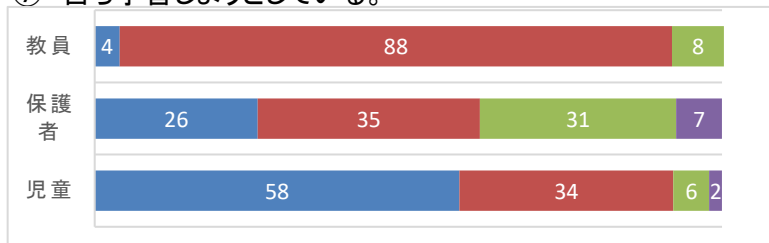
概ね肯定的な回答となっています。挨拶と同様、日々の教育活動や道徳教育などを、より意識ができるように働きかけていきます。

⑥ 学習内容を理解している。



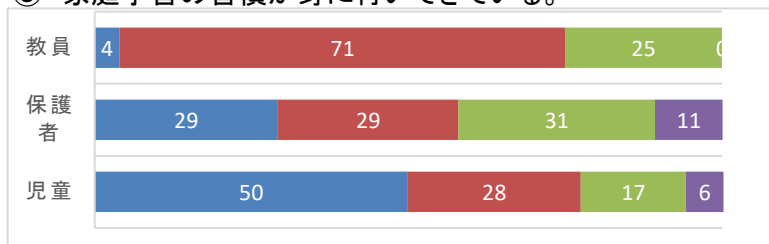
児童は概ね肯定的な回答をしています。本市、本校の重点である「わかる授業」に努め、一人一人の児童に応じた丁寧な細かな指導をしていきます。また、学習についての相談や情報共有の機会を充実させていきます。

⑦ 自ら学習しようとしている。



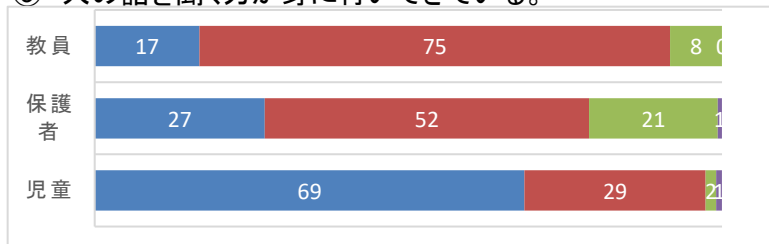
教職員、児童・保護者の回答に差があります。児童については肯定的な回答が9割となっており、高い状態であるため、子供たちの頑張りを称賛していきます。教職員についても研修に機会を増やし、よりよい指導を目指していきます。

⑧ 家庭学習の習慣が身に付いてきている。



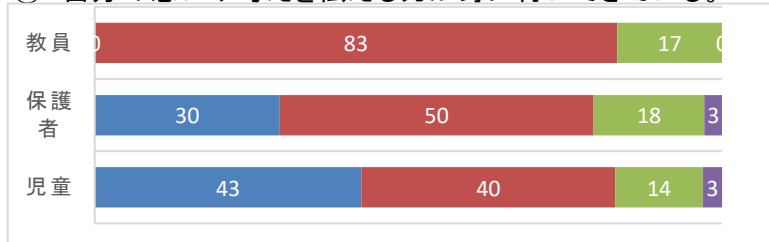
他の項目と比べ、肯定的な回答が低く、課題といえます。家庭学習の必要感をもちたせる工夫や、家庭学習の事例などを紹介し、児童が進んで家庭学習に取り組めるようにしていきます。

⑨ 人の話を聞く力が身に付いてきている。



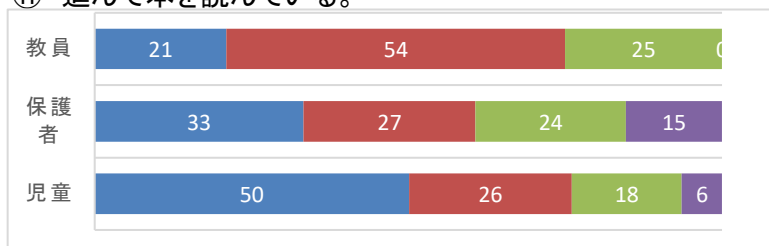
児童、教職員では肯定的な回答が9割以上となっています。今年度、国語の「話す・聞く」の学習に重点を置いた成果であると考えられます。ペアトークやグループ学習の様子などの成果を保護者の皆様にもわかりやすく伝えていきます。

⑩ 自分の思いや考えを伝える力が身に付いてきている。



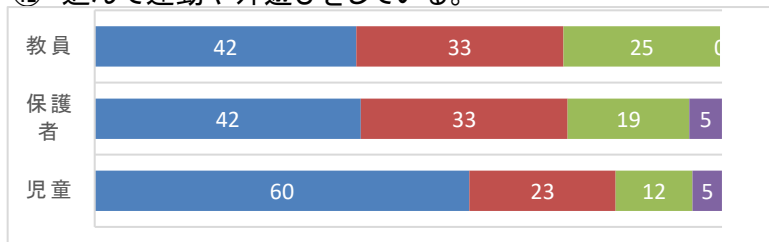
昨年度と同様、2割の児童が否定的な回答をしています。自分の思いや考えを自信をもって伝えられるよう、児童の自己肯定感を高めていくことや、引き続き今年度の「話す・聞く」の学習で、伝え方の技能も高められるようにしていきます。

⑪ 進んで本を読んでいる。



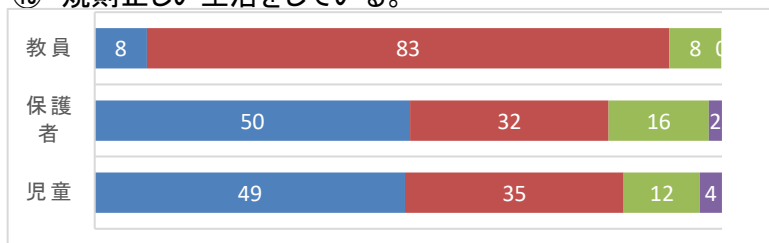
朝学習の時間や国語（図書）などに読書の時間を設けるなど、意図的に読書の時間を増やしていくことなどの取組をしていきます。図書館指導員や図書委員会と連携し、読書の啓発活動も充実していきます。

⑫ 進んで運動や外遊びをしている。



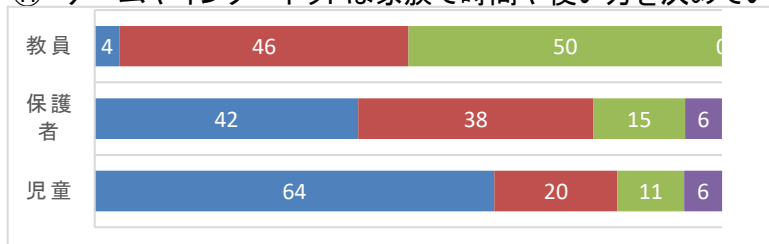
体育学習の充実を図ったり、体育委員会を中心として外遊びの啓発活動したりすることで、運動に親しむ児童を増やしていきます。

⑬ 規則正しい生活をしている。



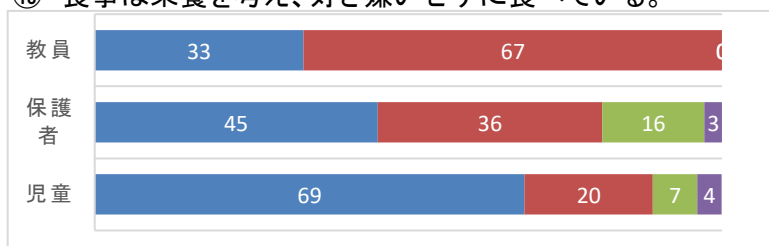
昨年度と同様、児童・保護者・教職員とも8割の回答で肯定的に捉えています。学級活動や体育の保健学習、外部講師の出前授業をはじめ、学校生活の場々の様々な場面で規則正しい生活についての啓発活動を行っていきます。

⑭ ゲームやインターネットは家族で時間や使い方を決めている。



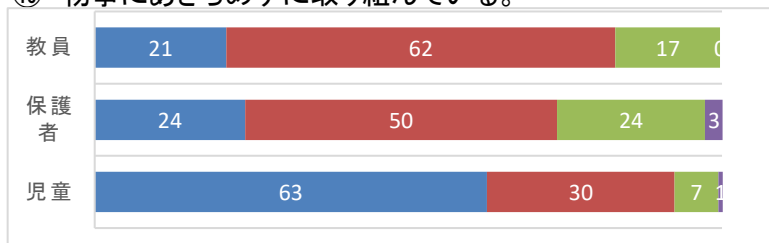
全国的に喫緊の課題であり、今後も更なる課題が予想されまます。外部講師の出前授業や情報モラル教育を充実させ、様々な事例も取り上げ、児童に問題意識をもたせるようにしていきます。

⑮ 食事は栄養を考え、好き嫌いせずに食べている。



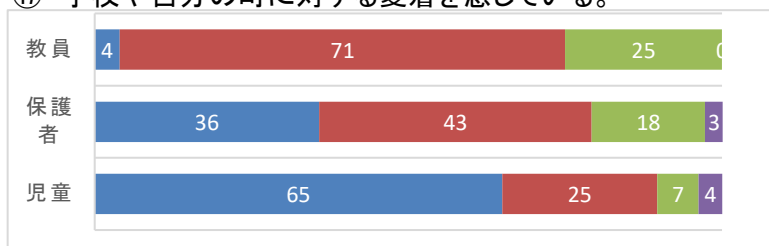
特別活動や家庭科の学習をはじめ、食育指導の機会を確実に確保するとともに、好き嫌いについては児童の実態をふまえながら、じっくりと取り組んでいきます。

⑯ 物事にあきらめずに取り組んでいる。



児童・教職員との回答に差がありますが、昨年度と同様、児童については9割が肯定的な回答をしています。児童の頑張りを大いに認め、児童が達成感や充実感をか味わ、児童の自己肯定感を高められるようにしていきます。

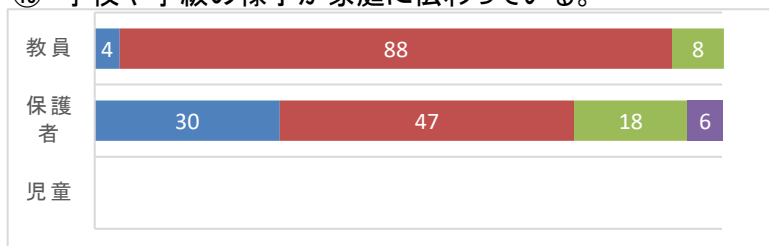
⑰ 学校や自分の町に対する愛着を感じている。



9割の児童が肯定的な回答をしています。総合的な学習の時間（有吉学習）や生活科の学習を中心に、地域を題材とした学習の機会を充実させ、学校や自分たちの町のよさを実感できるような取組を工夫していきます。

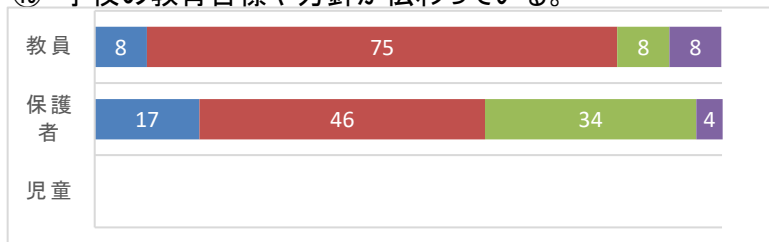
以降は、教員・保護者のみの設問となります。

⑱ 学校や学級の様子が家庭に伝わっている。



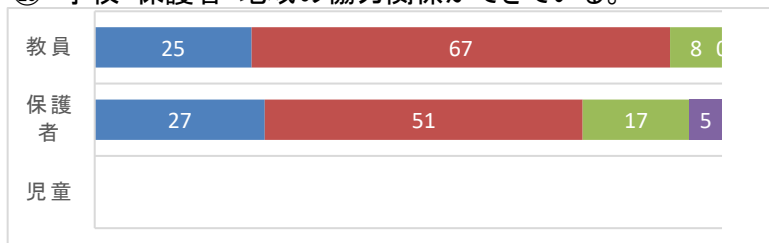
学校だよりや学年だより、個人面談や参観の機会だけではなく、必要に応じて家庭との情報共有の時間を設定し、学校の様子を伝えられる場を確保できるようにしていきます。

⑲ 学校の教育目標や方針が伝わっている。



本校の課題といえます。4割弱の方が否定的な回答をしています。学校・学年だより、学習参観、学校行事の機会を通して、全職員が学校の教育方針がより伝わるよう工夫していきます。

⑳ 学校・保護者・地域の協力関係ができている。



学習ボランティアの皆様をはじめ、多くの方に協力いただいています。課題であるといえます。個人面談や学習参観・懇談会をはじめ、定期的に家庭との情報共有の時間を設定できるように工夫していきます。

㉑ けがや事故に対する連絡や処置が適切である。



100%を目指すべき項目です。安全・安心に最重点を置き、学校全体として取り組んでいます。全員の児童が安全で安心して過ごせるように努力してまいります。また、本校の安全指導についての体制についてもわかりやすく周知していきます。

多くの項目にもかかわらず、ご回答いただきありがとうございました。この結果をもとに今年度の残りの日々から留意して教育活動を進めてまいりますので、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。